

## ◆ 編集後記

論文を投稿された若い研究者のほとんどは、私が個人的には存じない方ばかりです。しかし、一度、二度と査読を経るなかで、お名前とどのような研究をされている方かという記憶は残ります。そうして1年後、2年後、新たに博士の学位を取得した方々の名簿の中に、その名前を見つけると、本誌が少しはお役に立ったのだとうれしくなります。

本号より、論文タイトルの左上に、論文・研究ノートなどの種別を表示し、また受理・採録決定の期日をわかりやすい位置に配置するようにしました。  
(仁木 宏・編集委員長)

編集主任とは名ばかり、全く頼りになりませんでした。敷かれたレールに沿ってなんとか歩みを進め、どうにか第五号も無事に刊行されることになりました。これも他の編集委員の先生方のご指導、また A さん、D さんのご活躍があったればこそ、ひとえに周りの方々のおかげであると言わなければなりません。本当にありがとうございました。  
(金蔵)

Once again, I am happy to have made a small contribution to the latest issue of the journal. I look forward to the opportunity of working on future issues.  
(I.R.)

春節を迎えました。そういえば、まわりの木々も、いつの間にか、芽吹きはじめています。私にとっては、うっとうしい花粉症の時期の到来でもあります。さて、新年にあたり、気をひきしめなおして、編集作業に従事させていただきたく思います。もちろん、惰性や慢心を警戒しつつ、です。  
(M.L.)

今号で編集委員としての務めを無事果たし終えることになりました。ほとんど編集経験のない素人の状態から、2号の編集主任の大役を経て、学術誌を作ることはどういうことか、一から学ばせて頂きました。その経験を、他の雑誌の編集任務に生かしています。どうもありがとうございました。

編集する側に回って、原稿の締切を守らないことがいかに迷惑かもよくわかりました。といいながら、執筆者としてはつい.....。  
(土)

不惑とは名ばかりで、四十路の路頭に徘徊するストレイ・シープです。編集の手際もそろそろ会得の域に達していなければなりませんのに、号を重ねる毎に周囲にご迷惑をお掛けしているようで、心苦しい限りです。次号は編集主任を担当するめぐり、気持ちを引き締めて頑張らねば...。  
(T.T.)